

(単位：千円)

事務事業名	合併処理浄化槽管理運営事業			予算額	38,652
局/部/課	環境局/環境共生部/環境対策課			〔要求と査定経過〕	
予算書P.129	4款 衛生費	2項 清掃費	1目 清掃総務費	市長	38,652
<事業の目的・内容> 生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るための事業であり、合併処理浄化槽によるし尿及び生活雑排水の適正な処理を推進し、公共用水域等の水質の改善を図ることを目的とします。				財政局長	38,652
				要求	38,652
				査定区分	A
				前年度予算額	71,958
				増減	33,306
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				
事務事業名	環境美化推進事業			予算額	76,696
局/部/課	環境局/資源循環推進部/資源循環政策課			〔要求と査定経過〕	
予算書P.129	4款 衛生費	2項 清掃費	1目 清掃総務費	市長	76,696
<事業の目的・内容> 「さいたま市路上喫煙及び空き缶等のポイ捨ての防止に関する条例」に基づき、環境美化の推進と、安心安全できれいなまちづくりの推進を図ります。 また、環境美化に対する市民意識の更なる向上を図るため、ポイ捨て防止対策と市民参加による清掃活動を継続的に実施します。				財政局長	76,696
				要求	78,956
				査定区分	B
				前年度予算額	82,369
				増減	5,673
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。				
事務事業名	廃棄物処理対策事業（資源循環政策課）			予算額	77,438
局/部/課	環境局/資源循環推進部/資源循環政策課			〔要求と査定経過〕	
予算書P.129	4款 衛生費	2項 清掃費	1目 清掃総務費	市長	77,438
<事業の目的・内容> 一般廃棄物の収集・運搬・処理に係る総合計画を策定し、広く市民や事業者 に、ごみ減量・リサイクル推進及び啓発を図ります。				財政局長	77,438
				要求	82,558
				査定区分	B
				前年度予算額	93,977
				増減	16,539
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。				
事務事業名	廃棄物処理対策事業（廃棄物対策課）			予算額	23,861
局/部/課	環境局/資源循環推進部/廃棄物対策課			〔要求と査定経過〕	
予算書P.129	4款 衛生費	2項 清掃費	1目 清掃総務費	市長	23,861
<事業の目的・内容> 一般廃棄物処理基本計画に基づき、広く市民や事業者 に、ごみ減量・リサイクルの推進及び啓発を図ります。				財政局長	23,861
				要求	23,861
				査定区分	A
				前年度予算額	24,696
				増減	835
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(単位：千円)

事務事業名	安全衛生推進事業（西清掃事務所）			予算額	657	
局/部/課	環境局/資源循環推進部/西清掃事務所			〔要求と査定経過〕		
予算書P.129	4款 衛生費	2項 清掃費	1目 清掃総務費	市長	657	
<事業の目的・内容> 西清掃事務所安全衛生委員会の運営及び職場の安全衛生教育を行うとともに、職場における事故の防止及び安全衛生の推進を図ります。				財政局長	657	
				要求		657
				査定区分	A	
				前年度予算額	678	
				増減	21	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	安全衛生推進事業（東清掃事務所）			予算額	762	
局/部/課	環境局/資源循環推進部/東清掃事務所			〔要求と査定経過〕		
予算書P.129	4款 衛生費	2項 清掃費	1目 清掃総務費	市長	762	
<事業の目的・内容> 東清掃事務所安全衛生委員会の運営及び職場の安全衛生教育を行うとともに、職場における事故の防止及び安全衛生の推進を図ります。				財政局長	762	
				要求		762
				査定区分	A	
				前年度予算額	775	
				増減	13	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	安全衛生推進事業（西部環境センター）			予算額	1,457	
局/部/課	環境局/施設部/西部環境センター			〔要求と査定経過〕		
予算書P.129	4款 衛生費	2項 清掃費	1目 清掃総務費	市長	1,457	
<事業の目的・内容> 労働安全衛生法及びさいたま市職員安全衛生管理組織規定に基づき、職員安全衛生委員会を定期的に開催すると共に、産業医による健康相談、場内の安全パトロールを実施します。また、職員に対する安全意識の向上を図るための啓発活動を実施します。				財政局長	1,457	
				要求		1,457
				査定区分	A	
				前年度予算額	1,103	
				増減	354	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	安全衛生推進事業（東部環境センター）			予算額	1,793	
局/部/課	環境局/施設部/東部環境センター			〔要求と査定経過〕		
予算書P.129	4款 衛生費	2項 清掃費	1目 清掃総務費	市長	1,793	
<事業の目的・内容> 労働安全衛生法及びさいたま市職員安全衛生管理組織規定に基づき、職員安全衛生委員会を定期的に開催すると共に、産業医による健康相談、場内の安全パトロールを実施します。また、職員に対する安全意識の向上を図るため、啓発活動を実施します。				財政局長	1,793	
				要求		1,793
				査定区分	A	
				前年度予算額	1,322	
				増減	471	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(単位：千円)

事務事業名	安全衛生推進事業（クリーンセンター大崎）			予算額	924	
局/部/課	環境局/施設部/クリーンセンター大崎			〔要求と査定経過〕		
予算書P.129	4款 衛生費	2項 清掃費	1目 清掃総務費	市長	924	
<事業の目的・内容> 労働安全衛生法及びさいたま市職員安全衛生管理組織規定に基づき、職員安全衛生委員会を定期的に開催するとともに、産業医による健康相談、場内の安全パトロールを実施します。また、職員に対する安全意識の向上を図るため、啓発活動を実施します。				財政局長	924	
				要求		924
				査定区分	A	
				前年度予算額		992
				増減		68
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	安全衛生推進事業（大宮南部浄化センター）			予算額	91	
局/部/課	環境局/施設部/大宮南部浄化センター			〔要求と査定経過〕		
予算書P.129	4款 衛生費	2項 清掃費	1目 清掃総務費	市長	91	
<事業の目的・内容> 大宮南部浄化センター職員に対する安全衛生教育を行います。				財政局長	91	
				要求		91
				査定区分	A	
				前年度予算額		94
				増減		3
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	安全衛生推進事業（クリーンセンター西堀）			予算額	228	
局/部/課	環境局/施設部/クリーンセンター西堀			〔要求と査定経過〕		
予算書P.129	4款 衛生費	2項 清掃費	1目 清掃総務費	市長	228	
<事業の目的・内容> クリーンセンター西堀職員に対する安全衛生教育の実施及び事故防止に関する啓発活動を行います。				財政局長	228	
				要求		228
				査定区分	A	
				前年度予算額		238
				増減		10
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	家庭吸込下水処理対策事業（大宮南部浄化センター）			予算額	265	
局/部/課	環境局/施設部/大宮南部浄化センター			〔要求と査定経過〕		
予算書P.129	4款 衛生費	2項 清掃費	1目 清掃総務費	市長	265	
<事業の目的・内容> 家庭吸込下水の収集運搬業者の指導及び吸込下水施設の機能維持管理に係る指導・啓発を行います。また、緊急時の収集業務を行います。				財政局長	265	
				要求		265
				査定区分	A	
				前年度予算額		320
				増減		55
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(単位：千円)

事務事業名	家庭吸込下水処理対策事業(クリーンセンター西堀)			予算額	389
局/部/課	環境局/施設部/クリーンセンター西堀			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 129	4款 衛生費	2項 清掃費	1目 清掃総務費	市長	389
<事業の目的・内容> 家庭吸込下水の収集運搬業者の指導及び吸込下水施設の機能維持管理に係る指導・啓発を行います。また、緊急時の収集業務を行います。				財政局長	389
				要求	389
				査定区分	A
				前年度予算額	533
				増減	144
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				
事務事業名	一般廃棄物収集運搬処理事業			予算額	2,613,274
局/部/課	環境局/資源循環推進部/廃棄物対策課			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 131	4款 衛生費	2項 清掃費	2目 塵芥処理費	市長	2,613,274
<事業の目的・内容> 一般廃棄物(家庭ごみ)の適正な収集・処分を行い、市民の快適な生活環境の保全を図ります。				財政局長	2,613,274
				要求	2,613,274
				査定区分	A
				前年度予算額	2,679,125
				増減	65,851
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				
事務事業名	西清掃事務所収集・管理事業			予算額	107,249
局/部/課	環境局/資源循環推進部/西清掃事務所			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 131	4款 衛生費	2項 清掃費	2目 塵芥処理費	市長	107,249
<事業の目的・内容> 市民に清潔で住みやすい生活環境を提供するために、市民から排出されるごみを迅速に収集運搬し都市環境の美化、衛生の保持を図ります。				財政局長	107,249
				要求	107,249
				査定区分	A
				前年度予算額	102,176
				増減	5,073
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				
事務事業名	東清掃事務所収集・管理事業			予算額	105,046
局/部/課	環境局/資源循環推進部/東清掃事務所			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 131	4款 衛生費	2項 清掃費	2目 塵芥処理費	市長	105,046
<事業の目的・内容> 市民に清潔で住みやすい生活環境を提供するために、市民から排出されるごみを迅速に収集運搬し都市環境の美化、衛生の保持を図ります。				財政局長	105,046
				要求	105,046
				査定区分	A
				前年度予算額	107,924
				増減	2,878
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(単位：千円)

事務事業名	大崎清掃事務所収集・管理事業			予算額	107,168	
局/部/課	環境局/資源循環推進部/大崎清掃事務所			〔要求と査定経過〕		
予算書P.131	4款 衛生費	2項 清掃費	2目 塵芥処理費	市長	107,168	
<事業の目的・内容> 市民に清潔で住みやすい生活環境を提供するために、市民から排出されるごみを迅速に収集運搬し都市環境の美化、衛生の保持を図ります。				財政局長	107,168	
				要求		107,168
				査定区分	A	
				前年度予算額	95,968	
				増減	11,200	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	西部環境センター維持管理事業			予算額	1,204,818	
局/部/課	環境局/施設部/西部環境センター			〔要求と査定経過〕		
予算書P.131	4款 衛生費	2項 清掃費	2目 塵芥処理費	市長	1,204,131	
<事業の目的・内容> 一般廃棄物の中間処理施設としての設備・機器を整備点検し、その性能確保を図り、併せて安全かつ効率的なごみ処理運転を行い、公害の発生を未然に防止するとともに、余熱利用として発電し、余剰電力を売電します。また、焼却灰を溶融処理することにより、一層の資源化を進めます。				財政局長	1,204,131	
				要求		1,628,052
				査定区分	C	
				前年度予算額	1,197,728	
				増減	7,090	
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。					
事務事業名	西部環境センター残渣処分事業			予算額	108,583	
局/部/課	環境局/施設部/西部環境センター			〔要求と査定経過〕		
予算書P.131	4款 衛生費	2項 清掃費	2目 塵芥処理費	市長	108,583	
<事業の目的・内容> 最終処分場の延命化・環境負荷の低減を図るため、一般廃棄物の中間処理後に生じた溶融スラグの資源化を進め、また、溶融施設定期整備による休炉中は焼却灰をセメント資源化するなど、中間処理によって生じるものの再資源化にできる限り努めます。				財政局長	108,583	
				要求		108,583
				査定区分	A	
				前年度予算額	57,198	
				増減	51,385	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	東部環境センター維持管理事業			予算額	858,832	
局/部/課	環境局/施設部/東部環境センター			〔要求と査定経過〕		
予算書P.131	4款 衛生費	2項 清掃費	2目 塵芥処理費	市長	858,832	
<事業の目的・内容> 市民生活環境の向上を図るため、ごみ処理施設における可燃・不燃ごみ等処理業務を適切に行うとともに、ごみ処理施設の性能維持及び公害等の定常的な発生防止に努めます。				財政局長	858,832	
				要求		911,632
				査定区分	B	
				前年度予算額	903,920	
				増減	45,088	
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。					

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(単位：千円)

事務事業名	東部環境センター残渣処分事業			予算額	278,360	
局/部/課	環境局/施設部/東部環境センター			〔要求と査定経過〕		
予算書P.131	4款 衛生費	2項 清掃費	2目 塵芥処理費	市長	278,360	
<事業の目的・内容> 最終処分場の延命化・環境負担の低減を図るため、一般廃棄物の中間処理後に生じた焼却灰をセメント資源化するなど、再資源化にできる限り努めます。				財政局長	278,360	
				要求		278,360
				査定区分	A	
				前年度予算額	236,715	
				増減	41,645	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	クリーンセンター大崎維持管理事業			予算額	1,700,032	
局/部/課	環境局/施設部/クリーンセンター大崎			〔要求と査定経過〕		
予算書P.131	4款 衛生費	2項 清掃費	2目 塵芥処理費	市長	1,699,346	
<事業の目的・内容> 市民生活環境の向上を図るため、ごみ処理施設における可燃・不燃ごみ等の処理業務を適切に行うとともに、ごみ処理施設の性能維持及び公害等の定常的な発生防止に努めます。				財政局長	1,699,346	
				要求		1,861,985
				査定区分	B	
				前年度予算額	1,642,100	
				増減	57,932	
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。					
事務事業名	クリーンセンター大崎残渣処分事業			予算額	541,692	
局/部/課	環境局/施設部/クリーンセンター大崎			〔要求と査定経過〕		
予算書P.131	4款 衛生費	2項 清掃費	2目 塵芥処理費	市長	541,692	
<事業の目的・内容> 最終処分場の延命化・環境負荷の低減を図るため、一般廃棄物の中間処理後に生じた焼却灰をセメント資源化するなど、できる限り再資源化に努めます。				財政局長	541,692	
				要求		541,692
				査定区分	A	
				前年度予算額	605,332	
				増減	63,640	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	岩槻環境センター維持管理事業			予算額	563,288	
局/部/課	環境局/施設部/岩槻環境センター			〔要求と査定経過〕		
予算書P.131	4款 衛生費	2項 清掃費	2目 塵芥処理費	市長	563,288	
<事業の目的・内容> 一般廃棄物の中間処理施設としての設備・機器を整備点検し、その性能確保を図り、併せて安全かつ効率的なごみ処理運転を行い、公害の発生を未然に防止します。				財政局長	563,288	
				要求		612,488
				査定区分	B	
				前年度予算額	688,976	
				増減	125,688	
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。					

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(単位：千円)

事務事業名	岩槻環境センター残渣処理事業			予算額	115,826	
局/部/課	環境局/施設部/岩槻環境センター			〔要求と査定経過〕		
予算書P.131	4款 衛生費	2項 清掃費	2目 塵芥処理費	市長	115,826	
<事業の目的・内容> 最終処分場の延命化・環境負荷の低減を図るため、一般廃棄物の中間処理後に生じた焼却灰の適正な処理に努めます。				財政局長	115,826	
				要求		115,826
				査定区分	A	
				前年度予算額	173,044	
				増減	57,218	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	環境整備センター維持管理事業			予算額	271,741	
局/部/課	環境局/施設部/環境整備センター			〔要求と査定経過〕		
予算書P.131	4款 衛生費	2項 清掃費	2目 塵芥処理費	市長	271,741	
<事業の目的・内容> 一般廃棄物の最終処分場(埋立地)を適切に維持管理します。				財政局長	271,741	
				要求		1,437,144
				査定区分	E	
				前年度予算額	325,147	
				増減	53,406	
査定の考え方	土地開発公社からの事業用地の買戻しについては、2月補正予算にて前倒し計上しました。					
事務事業名	し尿処理事業			予算額	420,559	
局/部/課	環境局/資源循環推進部/廃棄物対策課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.131	4款 衛生費	2項 清掃費	3目 し尿処理費	市長	420,559	
<事業の目的・内容> 市民、事業者等を対象に、生活環境に支障が生じないように、し尿等を収集します。				財政局長	420,559	
				要求		420,559
				査定区分	A	
				前年度予算額	429,682	
				増減	9,123	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	大宮南部浄化センター維持管理事業			予算額	236,810	
局/部/課	環境局/施設部/大宮南部浄化センター			〔要求と査定経過〕		
予算書P.131	4款 衛生費	2項 清掃費	3目 し尿処理費	市長	236,123	
<事業の目的・内容> し尿・浄化槽汚泥及び家庭吸込下水を適正に処理するため、施設の運転、日常点検及び定期整備を行い、処理水を適切な水質にして河川に放流します。また、センターに付属する環境学習施設及び自然庭園を適切に管理、運営します。				財政局長	236,123	
				要求		236,217
				査定区分	B	
				前年度予算額	229,468	
				増減	7,342	
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。					

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(単位：千円)

事務事業名	クリーンセンター西堀維持管理事業			予算額	142,439	
局/部/課	環境局/施設部/クリーンセンター西堀			〔要求と査定経過〕		
予算書P. 131	4款 衛生費	2項 清掃費	3目 し尿処理費	市長	141,044	
<事業の目的・内容> し尿・浄化槽汚泥及び家庭吸込下水を適正に処理するため、施設の運転、日常点検及び定期整備を行い、処理水を適切な水質にして河川に放流します。また、緊急時等の処理機能を維持します。				財政局長	141,044	
				要求		141,044
				査定区分	A	
				前年度予算額	150,404	
				増減	7,965	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	リサイクル推進事業（資源循環政策課）			予算額	1,000	
局/部/課	環境局/資源循環推進部/資源循環政策課			〔要求と査定経過〕		
予算書P. 133	4款 衛生費	2項 清掃費	4目 リサイクル推進費	市長	1,000	
<事業の目的・内容> 資源の循環を推進するため、ごみ減量及びリサイクルについての啓発活動を行います。				財政局長	1,000	
				要求		1,000
				査定区分	A	
				前年度予算額	1,000	
				増減	0	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	リサイクル推進事業（廃棄物対策課）			予算額	97,578	
局/部/課	環境局/資源循環推進部/廃棄物対策課			〔要求と査定経過〕		
予算書P. 133	4款 衛生費	2項 清掃費	4目 リサイクル推進費	市長	97,578	
<事業の目的・内容> 資源の循環を推進するため、ごみ減量及びリサイクルについての啓発活動を行います。				財政局長	97,578	
				要求		97,578
				査定区分	A	
				前年度予算額	97,819	
				増減	241	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	資源分別収集運搬処理事業			予算額	2,082,316	
局/部/課	環境局/資源循環推進部/廃棄物対策課			〔要求と査定経過〕		
予算書P. 133	4款 衛生費	2項 清掃費	4目 リサイクル推進費	市長	2,082,316	
<事業の目的・内容> ごみ減量及びリサイクルの推進を図るため、市民によって分別排出された資源物（びん、かん、ペットボトル、食品包装プラスチック、古紙類、繊維）の運搬と中間処理及び再資源化業務を行います。				財政局長	2,082,316	
				要求		2,082,316
				査定区分	A	
				前年度予算額	2,032,746	
				増減	49,570	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(単位：千円)

事務事業名	リサイクル基金活用事業			予算額	68,322	
局/部/課	環境局/資源循環推進部/廃棄物対策課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.133	4款 衛生費	2項 清掃費	4目 リサイクル推進費	市長	68,322	
<事業の目的・内容> リサイクル基金を活用し、環境教育の普及、リサイクルの推進及び啓発を図ります。				財政局長	68,322	
				要求		68,322
				査定区分	A	
				前年度予算額	71,174	
				増減	2,852	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	岩槻リサイクルプラザ維持管理事業			予算額	3,987	
局/部/課	環境局/施設部/岩槻環境センター			〔要求と査定経過〕		
予算書P.133	4款 衛生費	2項 清掃費	4目 リサイクル推進費	市長	3,987	
<事業の目的・内容> 岩槻区内から発生するリサイクルのための収集品家具等に手を加えまして再度リサイクル家具として提供しリサイクルの促進とごみの減量化を推進します。 また、リサイクル教室を開催し、リサイクルの意識の高揚を図ります。				財政局長	3,987	
				要求		3,987
				査定区分	A	
				前年度予算額	3,989	
				増減	2	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	東部リサイクルセンター維持管理事業			予算額	139,944	
局/部/課	環境局/施設部/東部リサイクルセンター			〔要求と査定経過〕		
予算書P.133	4款 衛生費	2項 清掃費	4目 リサイクル推進費	市長	139,944	
<事業の目的・内容> 市内の家庭から分別排出された資源物の内、缶類・びん類・ペットボトル・食品包装プラスチックをそれぞれ選別処理して再資源化を図り、回収資源の還元によるごみの減量を図ります。 家庭で不用になった家具類について「リサイクル品展示販売会」を開催し、リサイクル活動の推進を図ります。				財政局長	139,944	
				要求		155,244
				査定区分	B	
				前年度予算額	188,020	
				増減	48,076	
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。					
事務事業名	一般廃棄物処理施設整備事業			予算額	692,881	
局/部/課	環境局/施設部/環境施設課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.133	4款 衛生費	2項 清掃費	5目 施設整備費	市長	692,881	
<事業の目的・内容> 将来にわたり適正かつ安全に安定して、一般廃棄物の処理・処分を行えるよう施設の整備の企画・調査・検討を行うとともに、環境への負荷の少ない循環型社会の構築を目指し、資源化率の向上、最終処分量の低減等の推進につながる廃棄物処理施設の整備計画を行います。				財政局長	692,881	
				要求		772,013
				査定区分	B	
				前年度予算額	355,598	
				増減	337,283	
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。					

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(単位：千円)

事務事業名	一般廃棄物処理施設周辺環境整備事業			予算額	105,395	
局/部/課	環境局/施設部/環境施設課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.133	4款 衛生費	2項 清掃費	5目 施設整備費	市長	105,395	
<事業の目的・内容> クリーンセンター大崎の建設に伴い、地元自治会からの要望に基づき、交通渋滞の解消・交通事故防止の観点から大崎地区の狭隘道路の拡幅整備を行います。				財政局長	105,395	
				要求		105,395
				査定区分	A	
				前年度予算額	87,599	
				増減	17,796	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	一般廃棄物処理施設整備基金積立金			予算額	36	
局/部/課	環境局/施設部/環境施設課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.133	4款 衛生費	2項 清掃費	5目 施設整備費	市長	36	
<事業の目的・内容> 一般廃棄物処理施設整備を行うため積み立てを行います。				財政局長	36	
				要求		36
				査定区分	A	
				前年度予算額	48	
				増減	12	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	新クリーンセンター整備事業			予算額	3,475,371	
局/部/課	環境局/施設部/新クリーンセンター建設準備室			〔要求と査定経過〕		
予算書P.133	4款 衛生費	2項 清掃費	5目 施設整備費	市長	3,492,039	
<事業の目的・内容> 市民のリサイクル活動機能を備えたりサイクルセンター及び高効率で熱回収し発電等を行う廃棄物処理施設を整備します。				財政局長	3,492,039	
				要求		3,512,104
				査定区分	B	
				前年度予算額	2,037,596	
				増減	1,437,775	
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。					
事務事業名	環境活動推進事業			予算額	1,913	
局/部/課	環境局/環境共生部/環境総務課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.135	4款 衛生費	3項 環境対策費	1目 環境対策総務費	市長	1,913	
<事業の目的・内容> 自然と共生し、持続可能な環境を未来ある子どもたちに伝えるため、一人ひとりが環境に関心を持ち、自分に何ができるかを考え、できることから行動を始めるきっかけとなる、さまざまな機会づくりに取り組みます。				財政局長	1,913	
				要求		4,874
				査定区分	E	
				前年度予算額	1,835	
				増減	78	
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。					

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(単位：千円)

事務事業名	自然保護事業			予算額	4,152	
局/部/課	環境局/環境共生部/環境総務課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.135	4款 衛生費	3項 環境対策費	1目 環境対策総務費	市長	4,152	
<事業の目的・内容> 生物多様性に関わる自然環境や市民の快適な生活環境の保全を目的に、特定外来生物及び有害鳥獣の防除対策や空き地の適正管理指導を実施します。				財政局長	4,152	
				要求		4,152
				査定区分	A	
				前年度予算額	3,874	
				増減	278	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	環境政策推進事業			予算額	13,110	
局/部/課	環境局/環境共生部/環境総務課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.135	4款 衛生費	3項 環境対策費	1目 環境対策総務費	市長	13,110	
<事業の目的・内容> 環境基本条例に基づき策定された「さいたま市環境基本計画」の進行管理を行います。 その他、環境フォーラムをはじめ、本市の環境行政を計画的かつ総合的に推進していくための事業です。				財政局長	13,110	
				要求		18,210
				査定区分	C	
				前年度予算額	13,930	
				増減	820	
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。					
事務事業名	地球温暖化対策事業			予算額	180,543	
局/部/課	環境局/環境共生部/地球温暖化対策課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.135	4款 衛生費	3項 環境対策費	1目 環境対策総務費	市長	180,543	
<事業の目的・内容> 地球温暖化対策を総合的かつ効果的に推進するために、創エネ・省エネの取組を推進し、地域の温室効果ガス排出抑制に向けた各種施策事業に取り組みます。				財政局長	170,543	
				要求		233,686
				査定区分	C	
				前年度予算額	101,310	
				増減	79,233	
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。 なおさいたま市新エネルギー政策策定事業について、市長査定で増額しました。					
事務事業名	環境情報システム整備事業			予算額	50,734	
局/部/課	環境局/環境共生部/環境対策課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.135	4款 衛生費	3項 環境対策費	2目 環境対策費	市長	50,734	
<事業の目的・内容> 規制対象事業者等の情報や大気常時監視等の情報・データを「環境情報システム」により適切に管理・維持し、市民への迅速な情報提供により市民の安心、安全を確保します。				財政局長	50,734	
				要求		50,734
				査定区分	A	
				前年度予算額	50,901	
				増減	167	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(単位：千円)

事務事業名	環境監視事業			予算額	49,470	
局/部/課	環境局/環境共生部/環境対策課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.135	4款 衛生費	3項 環境対策費	2目 環境対策費	市長	49,470	
<事業の目的・内容> 工場、事業場に対して環境法令等の遵守を徹底することで、公害の未然防止を図り、市民の安心・安全を確保します。				財政局長	49,470	
				要求		53,289
				査定区分	B	
				前年度予算額	37,994	
				増減	11,476	
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。					
事務事業名	環境保全政策推進事業			予算額	7,694	
局/部/課	環境局/環境共生部/環境対策課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.135	4款 衛生費	3項 環境対策費	2目 環境対策費	市長	7,694	
<事業の目的・内容> 現在及び将来の市民の安全かつ快適な生活環境を確保するため、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進します。				財政局長	7,694	
				要求		11,135
				査定区分	C	
				前年度予算額	4,485	
				増減	3,209	
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。					
事務事業名	交通環境対策事業			予算額	7,024	
局/部/課	環境局/環境共生部/環境対策課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.135	4款 衛生費	3項 環境対策費	2目 環境対策費	市長	7,024	
<事業の目的・内容> 地球温暖化防止および大気汚染防止を図るため、自動車から公共交通機関等への転換の推進や、エコドライブの推進などにより、自動車から排出される二酸化炭素と大気汚染物質の削減を進めます。				財政局長	7,024	
				要求		7,024
				査定区分	A	
				前年度予算額	7,023	
				増減	1	
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	環境未来都市推進事業			予算額	50,728	
局/部/課	環境局/環境共生部/環境未来都市推進課			〔要求と査定経過〕		
予算書P.135	4款 衛生費	3項 環境対策費	2目 環境対策費	市長	62,479	
<事業の目的・内容> 運輸部門からの二酸化炭素削減対策として、電気自動車普及施策「E-K I Z U N A P r o j e c t」を推進するとともに、「次世代自動車・スマートエネルギー特区」推進を視野に取組を実施し、「暮らしやすく、活力のある都市として、継続的に成長する環境未来都市」の実現を目指します。				財政局長	58,979	
				要求		131,952
				査定区分	D	
				前年度予算額	122,223	
				増減	71,495	
査定の考え方	事業手法、実施時期・箇所等事業内容を精査しました。 なおEV車の充電セーフティネットの構築経費について、市長査定で増額しました。					

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満
市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(単位：千円)

事務事業名	産業廃棄物対策事業			予算額	75,700			
局/部/課	環境局/資源循環推進部/産業廃棄物指導課			〔要求と査定経過〕				
予算書P.135	4款 衛生費	3項 環境対策費	2目 環境対策費	市長	75,700			
<事業の目的・内容> 産業廃棄物の適正処理及び3R(発生抑制、再使用、再生利用)を推進することにより、環境への負荷が少ない循環型社会の形成を促進します。				財政局長	75,700			
				要求		75,765		
				査定区分	B			
				前年度予算額	56,337			
				増減	19,363			
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。							

[査定区分] A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%~100%未満 C:査定率60%~80% D:査定率40%~60% E:査定率40%未満
 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。